

第4節

内陸エリア

白石市・角田市・登米市・栗原市・大崎市・蔵王町・
七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町・大和町・大郷町・
富谷市・大衡村・色麻町・加美町・涌谷町・美里町

全ての災害公営住宅整備事業が完了 汚染土壌等の除染や仮置き場の 維持管理を継続

内陸エリアは登米市の迫西大綱第二地区での災害公営住宅24戸が平成28年7月に完成し、内陸エリア内の全ての災害公営住宅整備事業は完了しました。

国土交通省が整備を進めてきた三陸沿岸道路「登米志津川道路」のうち、「登米東IC～三滝堂IC間」が平成28年4月に開通しました。沿岸部の復興支援を後押しする新たなルートとなっています。

道路改築事業では、岩沼・名取地区と県南内陸部、山形方面を結ぶ重要路線である岩沼蔵王線の姥ヶ懐トンネル工事を平成27年12月に着手しました。トンネルは道路以外の役割を持

ち、上水道の通り道にもなる予定です。

福島県に隣接する丸森町では、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う汚染土壌等の除染措置が平成27年3月末で完了しました。町内25箇所

に整備された仮置き場では、空間線量を計測する等、適正な維持管理が続けられています。白石市では、平成29年3月に除染措置は完了しました。

内陸エリアでは、地域の状況に応じた様々な訓練が実施されました。白石



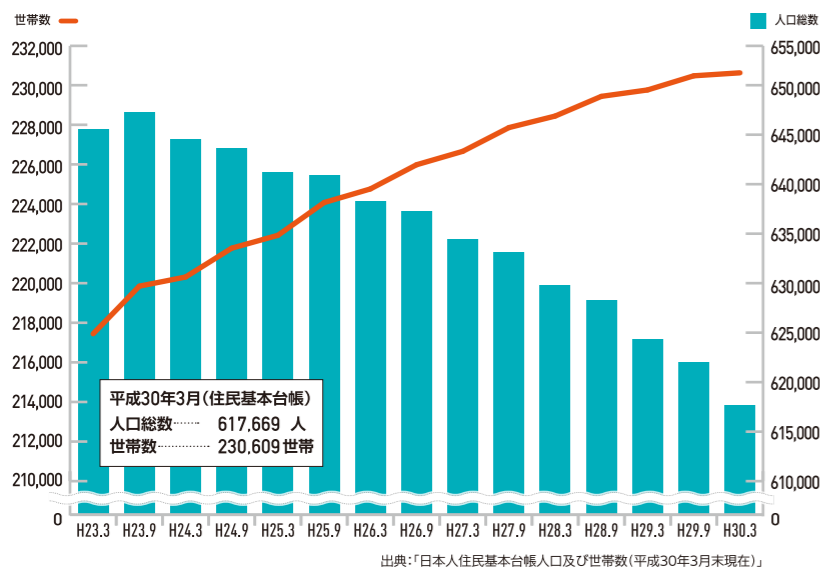
写真：姥ヶ懐トンネル工事貫通の様子(村田町)

市では各自主防災組織や各自治会が独自にシナリオを作成し、平成27年に配布された「安否確認フラッグ」を活用する等、様々な訓練を行いました。原子力防災対策については、東北電力女川原子力発電所から概ね30km内にある市町の避難計画に関し、涌谷町及び美里町では平成27年度に、登米市では平成28年6月に策定しました。また、涌谷町、美里町、登米市で原子力防災訓練も行いました。



写真：登米東IC～三滝堂IC間開通(登米市)

内陸エリアの人口・世帯数の推移

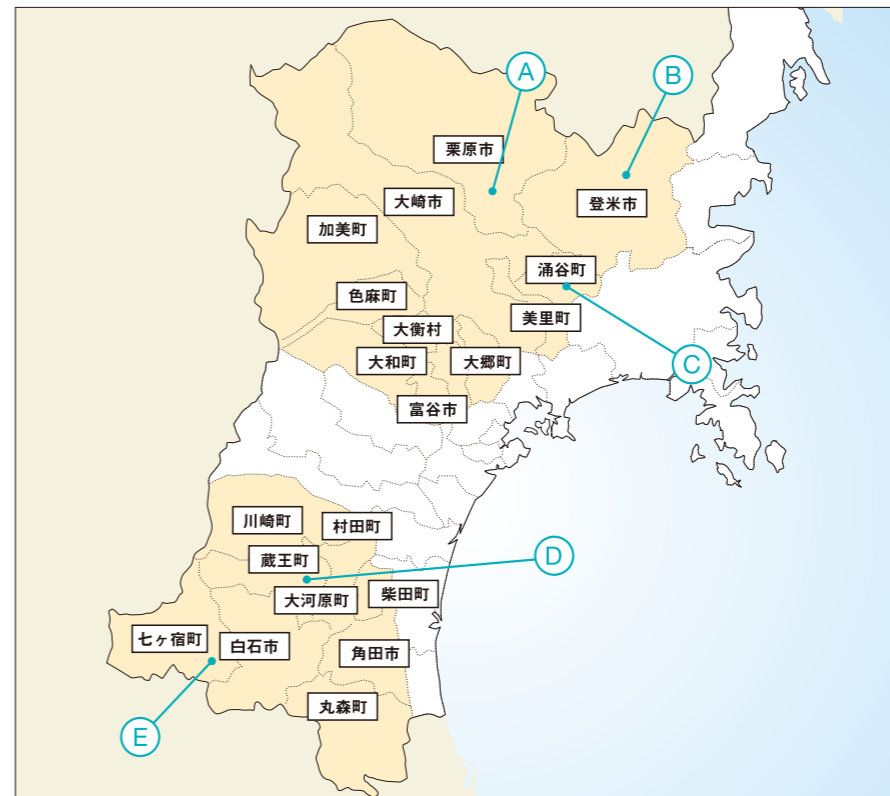


写真：倒壊した家屋(栗原市)

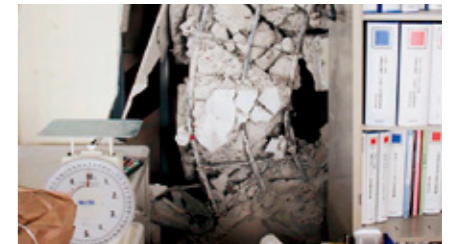


写真：避難所の様子(柴田町)

被災の状況



A 栗原市高清水地区



最大震度7を観測した栗原市では、高清水総合支所などの役場庁舎も損壊等の被害を受けました。

B 登米市東和地区



地震により、東和総合運動公園では、野球場やテニスコート場の法面崩壊が起きるなどの被害が発生しました。

C 涌谷町涌谷地区



震災後、上水道の供給が停止したため、給水車による給水が行われ、多くの被災者が行列をつくりました。

D 蔵王町円田地区



震動による液状化で、マンホールが地上に大きく突き出す被害が、各地で発生しました。

E 七ヶ宿町



地震により、県道南蔵王七ヶ宿線で法面が崩落するなど、大きな道路被害が発生しました。

● 人的被害(平成30年3月31日現在)

死者	33人	県全体の約0.3%	行方不明者	5人	県全体の約0.4%
----	-----	-----------	-------	----	-----------

● 住宅被害(平成30年3月31日現在)

全壊	1,346戸	県全体の約2%	半壊	8,502戸	県全体の約5%
----	--------	---------	----	--------	---------

● 避難状況(県全体ピーク時)

避難所	377箇所	県全体の約28% (平成23年3月15日午前11時)	避難者	24,205人	県全体の約8% (平成23年3月14日午後6時)
-----	-------	-------------------------------	-----	---------	-----------------------------

● 応急仮設住宅入居者(平成30年3月31日現在)

プレハブ住宅	0人	県全体の0%	民間賃貸借上住宅	228人	県全体の約6%
--------	----	--------	----------	------	---------